

● NPOパワーアップ補助金事業成果報告会 資料

	<table border="1"> <tr> <td>団体名</td> <td>特定非営利活動法人さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人</td> </tr> <tr> <td>代表者</td> <td>松下 明子</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>千葉県松戸市新松戸 3-28</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>047-340-3314</td> </tr> </table>	団体名	特定非営利活動法人さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人	代表者	松下 明子	所在地	千葉県松戸市新松戸 3-28	電話番号	047-340-3314
団体名	特定非営利活動法人さわやか福祉の会 松戸くらしの助っ人								
代表者	松下 明子								
所在地	千葉県松戸市新松戸 3-28								
電話番号	047-340-3314								
1 事業名	誰もが安全で、安心して外出できるように一移動サービスの拡充								
2 事業費	254,607円（このうち県の支出166,144円）								
3 事業期間	平成19年4月から平成20年1月末日								
4 事業の目的	松戸くらしの助っ人は平成9年の発足以来、松戸市内で地域支えあい活動を展開している。活動のひとつとして、一人では外出困難な方を対象に会員が自家用車を用いて送迎のサービス（有償）を実施している。昨年に当会では国土交通省に対してNPO等特定非営利団体の福祉有償運送事業の申請を受理されました。これを機会にこれまでは高齢者の病院への送迎が中心であった移送サービスを拡充し、障害者や健常児の学童保育後の迎えと見守りなどにも広げていく。このために利用者が安心して利用できるよう、移送に従事する会員には各種の研修を実施してレベルアップをはかる。								
5 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自家用車による移送の現地研修 (2) 車椅子付きバスによる研修旅行 								
6 事業経過	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自家用車による移送の現地研修 H19.12.22（土）千葉県移送サービス連絡会の協力をいただき、松戸くらしの助っ人で移送に携わっている人を対象に安全教育研修を行いました。当初の計画では移動支援ネットワークちば主催の講習会に参加する予定でしたが、協力会員の参加し易いことと費用を考慮して、松戸市の開催となりました。新松戸ユウカリマンションの会議室で協力会員25名、講師4名にて午前10時から午後3時まで行い、グループ別に分かれて福祉有償運転講習、セダン等運転者講習のテキストにより事例をもとに危険予想、介助についてそれぞれのグループ討議を経て意見をまとめ、発表と質疑応答があり活発な研修となりました。 (2) 車椅子付きバスによる研修旅行 松戸くらしの助っ人では会員を対象として外出支援のひとつとして障害を持つ人達との交流を図る目的でH19.11.15（木）千葉県安房鴨川への日帰りバス旅行を行いました。参加者34名（利用会員16名協力会員16名役員9名）そのうち3名が車椅子使用者 								

	<p>です。 障害者は旅行はしたくともほかの方々に迷惑をかけることに気がつかない外出を控えてしまう。又、協力会員においては車椅子操作を体験できるとてもよい機会でもあり、有意義な一日を過ごすことが出来たと思います。車椅子のセットおよびたみ方、使用方法では固定の仕方や押し方（坂道、段差での対処）等について障害者と対話しながら体験し、車椅子に乗っている人の目線での高さや怖さや介護する人の細心の注意をはらう大切さを実際に体験した研修の場となりました。</p>
<p>7 事業成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの高齢者の送迎が中心であったものを障害者の送迎や健常者の学童保育時間外の迎えと見守りを拡充したことにより送迎業務が増えた。達成したい目標 700 件であったが 4 月から 12 月までの実績が 607 件であり残り 3 ヶ月で目標を超えることは確実であり、利用者のニーズに応えた成果であると思います。 ・福祉バスを利用しての日帰り研修旅行は 11 月 15 日実施。参加会員の中に 3 名の車椅子使用者がおり、どうしても障害を持って人は遠出の外出はあきらめてしまいましたが、このサービスを利用して外出の楽しみ味わってもらい大変喜ばれました。協力会員は車椅子の操作、障害者の車椅子目線の体験や意見交換を通じ貴重な体験が出来ました。この資金の活用でより良い地域社会作りが出来たと思います。
<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>■直面した課題</p> <p>自家用車による研修において、松戸くらしの助っ人では協力会員はボランティアを理解していただいております。今後研修時の費用負担について松戸くらしの助っ人では限度があり会員と負担割合がどの程度理解できるかが大きな問題であり課題でもあります。</p> <p>■平成 19 年度以降の事業展開</p> <p>会員を増やす努力を通して、会費収入のみではカバーできない部分をフリーマーケットやいろいろな催しを実施して収入を確保し、会員相互の理解がはかれるイベント、研修会を展開していきます。松戸くらしの助っ人は自立支援サービスのお手伝いをし、松戸市内地域の中で助け合いの輪を広げていきたいと思っております</p>
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>継続して事業を展開していく場合、資金の確保は必要不可欠であります。NPO 活動補助金情報は早く対応することが大事です。</p>